

## 令和2年度（第1回）認定 くまとり世間遺産 一覧

	名称	種別	所在地	推薦理由	画像
①	手書き七山青年団 法被	モノ	大阪府泉南 郡熊取町七 山北 山中弘宗宅	昭和40年代にだんじり祭 りで使用されていた（おそ らく）初代のネーム入り法 被	
②	郷土力士「武蔵野」 の墓	モノ	熊取町七山 3-1109 三ヶ字墓地	郷土力士と思われる力士の 墓で、昭和23年12月に 有志により建立された。 初土俵：昭和29年9月 最終場所：昭和32年9月 最高位：序二段	
③	見出川の一枚岩	モノ	熊取町七山 東847付 近	谷川橋下にある、長さ約 30m、幅約7~8mの巨大 な一枚岩	
④	熊取交流センター 煉瓦館の鉄扉	モノ	大阪府泉南 郡熊取町五 門西 1-10- 1	渋谷すばる・二階堂ふみ主 演の映画「味園ユニバース」 （製作年：2015年 山下 淳弘監督）の1シーンとし て、熊取町の煉瓦館がロケ 地として選ばれ、映画ファ ンの記憶に残る名シーンが 撮影され、この映画を通し て、全国的に熊取町がPR された。この映画にとって	

				<p>中心的な名シーンとなっているオープニングの刑務所のシーンにおいて、煉瓦館の鉄扉が使われたもので、本町における映画のロケ地として、推薦するものである。</p>	
⑤	<p>藍染 わたっ子クラブ</p>	人	<p>熊取町五門西 煉瓦館内</p>	<p>昔、藍染の染物屋（紺屋）さんがたくさんあったということで、紺屋という地区名になったといわれている。藍染とその原料の藍を守り続けてくれている、わたっ子クラブの人々</p>	
⑥	<p>タイポグラフィによる版画作品 文字で描く「東海道五十三次」文字風景</p>	人	<p>熊取町五門西 信貴 奨<small>すずむ</small> 獎</p>	<p>グラフィックデザイナーとして主にシンボルマーク、ロゴタイプデザイン、パッケージデザインの制作活動。</p> <p>「広重の東海道五十三次」文字風景を1984年発表。'85年「東京展」、'87年「大阪展」と発表。1991年にはタイポグラフィ作品を高く評価され大阪広告協会より「サントリ一奨励賞」を受賞。</p>	<p>浜松</p>  <p>日本橋</p> 

7	だんじり祭りの宮 入風景	風景	熊取町小垣 内3丁目4 -15 大森神社	<p>各地区の地車11台が順次、神社境内の中央舞台の周りを2回と半周回した後に、宮司のお祓いを受けます。</p> <p>上手に走り終わると詰めかけた見物客から拍手が送られます。お祓いを受けた後境内の指定場所に待機して、全台が揃ったところで、一斉に鳴り物披露を行い境内から順次退場し、町内へと繰り出します。境内の舞台を中心に二週半走る宮入は、他では見られない熊取町独自の風景です。</p>	
8	辻ノ井	モノ	熊取町小谷 興蔵寺内	<p>弘法大師の痕跡は多々ありますが、この井戸はちょっとありがたさが違う！のどが渴いた弘法大師が村人からもらった水に感謝して、地面を杖で突いたところ、そこから水が湧き出したという言い伝えがある有難い井戸。今まで枯れたことがないといわれています。</p>	
9	まれくす堂	モノ	熊取町南山 の手台23	<p>中盛彬の著書「かりそめのひとりごと」にまれくす長者の話があり、江戸時代(天保年間)にその古い言い伝えがわかる、お堂と地藏。和田区の人々により伝統的に参り、保存がされています。</p>	

10	成合寺 釈迦如来	モノ	熊取町大字野田	火災で焼失してしまったと思っていた成合寺。本堂はありませんが地元消防団によりご本尊様の釈迦如来像は助けられ、小さな祠の中に保存されています。とても美しい釈迦如来像で思わず手を合わせました。	
11	成合口付近から望む夕方の田園風景	風景	熊取町成合	昭和時代を今も残す風景で、熊取に引っ越してきていつも感動した場所	
12	今も残る茅葺屋根の家	モノ	熊取町成合東 184	熊取町成合東、西方寺の近くに今でも残る茅葺屋根の家。敷地内に別棟があり住まわれているかは不明です。茅葺屋根の家は真夏でエアコンがなくても涼しく、快適に過ごせると言われています。ぜひいつまでも残っていて欲しい建造物です。	
13	菅原神社跡	風景	熊取町高田	明治時代に大森神社に合祀された神社のひとつである「菅原神社」は跡地しか残っていませんが、祭殿がなくなってぽっかりと空いたその地は、今もひっそりと木々に囲まれています。その場に立つと神仏がおわした頃のまま凛とした空気を	

				<p>発しているのを感じます。残念ながら、同時期に合祀された金堂神社の跡地や牛神社は今では場所の確認ができないそうです。</p>	
14	ホタルを育む上高田	風景	熊取町高田	<p>旧街道の名残が里山の縁に今も残っている上高田には、住民の方々のくらしがあります。そしてゲンジボタルを育む豊かな自然が今も溢れています。田んぼを潤す見出川に山から流れ込む湧き水の源にはプラナリアがいます。このゆったりとした静かな農村風景が、熊取の誇りだと感じます。</p>	
15	稜線沿いの駐車禁止	モノ	奥山雨山自然公園内	<p>奥山雨山自然公園のハイキングコース、稜線沿いに歩くと消火栓があります。よく見ると車も通れないのに「駐車禁止」の文字が入っています。</p>	
16	一ノ滝・二ノ滝	風景	奥山雨山自然公園内	<p>奥山雨山自然公園の「東ハイキングコース」にある、一ノ滝、二ノ滝。夏の酷暑の時に水が枯れずに流れています。</p>	

<p>17</p>	<p>池守明神と永楽池 四か条</p>	<p>モノ</p>	<p>奥山雨山自然公園内</p>	<p>昔の面影を残す自然豊かな地域で奥山雨山自然公園の奥に位置します。永楽ダム の水源である永楽池を造った際に地蔵様を祀って池の安泰を願いました（池守明神）。そして先人たちによって「永楽池四か条」が発せられ、皆が争わず大切な水を共有するよう、牛神座など共同で農作業に当たったそうです。</p>	
-----------	-------------------------	-----------	------------------	--	---